

Translational and Regulatory Sciences

第2回

Symposium

創薬スキームにおける 最新のTRS研究

～多様化するモダリティの開発と安全性確保(1)～

日本医療研究開発機構 (AMED) 東京大学 (UTokyo)
医薬基盤・健康・栄養研究所 (NIBIOHN) が中心となり
キャタリストユニットが主催するシンポジウム
第2回目は「創薬スキームにおける最新のTRS研究
～多様化するモダリティの開発と安全性確保(1)～」
というテーマでアカデミア・産業界の双方向の
研究を促進する場を提供する

事前申込要
参加費
不要

2020 **1.15** 水

13:00～17:45 (開場12:30)
東京大学 弥生講堂 一条ホール



事前申込URL <http://id3catalyst.jp/j/20200115.html>

シンポジウム終了後、エントランスホールにて
情報交換会 (参加費 ¥ 500) を開催します

開会の
あいさつ

AMEDキャタリストユニット代表 **堀 正敏**

来賓挨拶 **末松 誠** (日本医療研究開発機構 理事長)

堤 伸浩 (東京大学 大学院農学生命科学研究科長)

落谷 孝広 (東京医科大学 医学総合研究所)

▶エクソソームを標的とした創薬研究の最前線

眞鍋 史乃 (理化学研究所)

▶糖鎖構造制御による抗体-薬物複合体合成の均一合成

眞木 一茂 (医薬品医療機器総合機構)

▶mRNAを標的とする核酸医薬品の非臨床安全性評価

遊佐 敬介 (神戸大学 大学院科学技術イノベーション研究科)

▶バイオ医薬品等のウイルス安全性評価法の現状と将来展望

眞下 知士 (東京大学 医科学研究所)

▶ゲノム編集技術とその医療応用:基礎技術的視点から

三谷 幸之介 (埼玉医科大学 ゲノム医学研究センター)

▶ゲノム編集による遺伝子治療の現状と将来

内田 恵理子 (国立医薬品食品衛生研究所)

▶ゲノム編集技術を用いた遺伝子治療の規制と安全性評価の現状

小野 俊介 (東京大学 大学院薬学系研究科)

▶モダリティの多様化とレギュレーションのバランス

開会の
あいさつ

医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長 **米田 悦啓**

※講演タイトルは変更の可能性がございます。ご了承ください

〈主催〉キャタリストユニット



〈共催〉



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

お問合せ: キャタリストユニット

✉ info@id3catalyst.jp

URL: <http://www.id3catalyst.jp/>
TRS Journal HP: <https://www.cutrs.jp/>